

【2017年度より通信ソサイエティの研究会に参加される皆様】

電子情報通信学会 通信ソサイエティ
研専運営会議議長団

1. 技報完全電子化研究会について

2017年度4月より、通信ソサイエティの第一種研究会^{※1}では、技報完全電子化研究会が実施されます。

技報完全電子化研究会では個人を対象とした参加費および年間登録費の制度が導入され、研究会に参加される場合には、参加費あるいは年間登録費が必要となります。参加費をお支払い、あるいは年間登録をされた方は、「技報オンサイトビュー」サービスによって、参加する研究会の技報電子媒体のダウンロードができるようになります。年間2ないし3回以上研究会に参加される場合には、年間登録をすることによって参加費がお得になります。その年度の登録した研究会の技報を年度を通じてダウンロードできます。また、発表される方には、従来の別刷り購入に代わる制度として掲載料制度を導入し、定額制となります。

なお、技報（冊子体）の年間予約の場合、研究会開催後の郵送のみで研究会会場での配布はありません。通信ソサイエティの技報の冊子体は2017年度末で終了し研究会開催後に電子媒体をダウンロードできる技報アーカイブに移行する予定です。

2. 研究会参加費と年間登録費

○参加費の価格

	事前支払		当日支払	
	学会員	非会員	学会員	非会員
一般	3,000円(税別)	5,000円(税別)	4,000円(税込)	6,000円(税込)
	5,000円(税別)	7,000円(税別)	6,000円(税込)	8,000円(税込)
学生	—	1,000円(税別)	500円(税込) 無料(技報オンサイトビューなし)	2,000円(税込) 無料(技報オンサイトビューなし)

○年間登録費の価格^{※2}

	学会員	非会員
一般	4,000/6,000/8,000円(税別) (技報価格を考慮し研究会毎に設定)	7,000/9,000/11,000円(税別) (技報価格を考慮し研究会毎に設定)
学生	3つの研究会まで無料	

○掲載料の価格^{※3}

	掲載料
会員/非会員、一般/学生	3,000円(税別)

掲載料、参加費、年間登録の支払い方法は、研専運営会議ホームページに案内がございますのでご確認ください。

技報完全電子化 HP : http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/special/e_gihou2017/e_gihou2017_index.html

3. 2018年度からの技報年間予約（冊子体）の廃止について

完全電子化に伴い、2018年度から技報年間予約（冊子体）のサービスは電子版の「技報アーカイブ」サービスに移行します。「技報アーカイブ」により、通信ソサイエティの全研究会のバックナンバーの技報をダウンロードすることができるようになります。2017年度は冊子体技報年間予約をされた方は、「技報アーカイブ」を無料で利用することができます（ただし、ダウンロード数には制限があります）。

技報アーカイブ HP : http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/special/e_gihou2017/e_archive_index.html

※1 技報電子化を実施する通信ソサイエティ研究会一覧

略称	研究会名
AP	アンテナ・伝播
IA	インターネットアーキテクチャ
SANE	宇宙・航行エレクトロニクス
SAT	衛星通信
EMCJ	環境電磁工学
CQ	コミュニケーションクオリティ
ICM	情報通信マネジメント
IN	情報ネットワーク
SR	スマート無線
SRW	短距離無線通信
ASN	知的環境とセンサネットワーク
CS	通信方式
EE	電子通信エネルギー技術
NS	ネットワークシステム
OCS	光通信システム
OFT	光ファイバ応用技術
PN	フォトニックネットワーク
MICT	医療情報通信技術
RCS	無線通信システム
WPT	無線電力伝送
MoNA	モバイルネットワークとアプリケーション

※2 年間登録費の価格は参加される研究会までお問い合わせください。
学生会員は、3つの研究会まで無料で登録できます。

※3 掲載料は、技報のページ数にかかわらず定額です。
また会員／非会員、一般／学生の区別はありません。